２６ページ

３難病等の方々の障害福祉サービス等について

（１）障害福祉サービス等について

平成25年４月に施行された障害者総合支援法では、身体障害・知的障害・精神障害の方々に加え、難病等による障害のある方々が障害福祉サービス等の対象となりました。

対象となる方々は、身体障害者手帳の所持の有無に関わらず、必要と認められた障害福祉サービス等の受給が可能となります。

ここからは、制度の対象者、申請窓口、申請手続きについて、各障害福祉サービス等の概要の順番で説明していきます。

対象者は、難病等による障害のある方々です。

ここで言う難病等とは、３０～３２ページにある障害者総合支援法の対象となる難病等の疾患一覧にある病気のことです。

申請窓口は各市町村役場の窓口です。ただし、障害児入所支援は、中央児童相談所又は　はた児童相談所が窓口です。

手続きに関しては、対象疾病に罹患していることがわかる証明しょ（診断しょ又は特定医療費(指定難病)医療受給者証とう）を持参の上、窓口に支給を申請してください。

その後、障害支援区分の認定や支給決定等の手続きを経て、必要と認められたサービスを利用できることになります。詳しくは、市町村（障害児入所支援については、

中央児童相談所又は　はた児童相談所）へお問い合わせください。

障害福祉サービス等とは、障害児・しゃについては、障害福祉サービス、相談支援・補装具及び地域生活支援事業を指し、障害児については、障害児通所支援及び障害児入所支援を指します。

以上４つについて、簡単にご紹介していきます。

１障害福祉サービス（詳細は、１８ページをご覧ください。）

障害福祉サービスは、介護の支援を受ける「介護給付」と、訓練等の支援を受ける「訓練等給付」があります。

介護給付にはきょ宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護があり、訓練等給付には自立訓練、就労移行支援、就労継続支援などのサービスがあります。

利用者負担は、所得等に配慮したいわゆる応能負担とされています。

介護保険の対象となるかたは、介護保険サービスが優先されます。

障害支援区分だけでなく、別に利用条件があるサービスもあります。

２障害児支援（詳細は、３３ページをご覧ください。）

障害児については、市町村又は児童相談所により必要と認められた障害児つうしょ支援及び障害児入所支援のサービスが受けられます。

障害児つうしょ支援には児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、きょたく訪問型児童発達支援の５種類のサービスがあります。

障害児入所支援には福祉型障害児入所支援、医療型障害児入所支援の２種類のサービスがあります。

３補装具　（詳細は、82ページをご覧ください。）

失われた身体機能を補完・代替する用具の購入や修理、かりうけの費用が補装具費として給付されます。

具体的には装具、電動車いす、車いす、歩行器、重度障害者用意思伝達装置などが給付の対象となります。

利用者負担額は、所得等に配慮したいわゆる応能負担とされています。

なお、障害福祉サービスと介護保険法に基づくきょたくサービス等に関わる利用者負担と補装具に係る利用者負担を合算したうえで、利用者負担の軽減が図られるようになっています。

介護保険の対象となるかたは、介護保険サービスが優先されます。

４にちじょう生活用具　（詳細は、84ページをご覧ください。）

在宅で生活している障害のあるかたが、日常生活をより円滑に行うための用具が給付又は貸与されます。

具体的には、特殊寝台、入浴補助用具、ネブライザー（吸入器）、電気式たん吸引器などが対象となります。

障害の種別や程度、年齢によって給付できる用具が異なります。また、市町村によって給付できる用具等が異なる場合があります。

利用者負担額は、市町村ごとで独自に定められています。

なお、小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業については、59ページをご覧ください。

２７ページ

（２）医療について

【特定医療費（指定難病）の支給】

　平成27年１月１日に「難病の患者に対する医療等に関する法律」（以下「難病法」）が施行され、原因が不明で治療法が確立されていない、いわゆる難病のうち、厚生労働省が指定

した「指定難病」にかかり、認定基準を満たしたかたを対象に医療費を公費で負担します。

ここからは、問い合わせ先、対象者、医療費助成の内容、自己負担額、申請手続きについての順番で説明していきます。

問い合わせ先は、高知県健康対策課　電話番号:088-823-9678、各福祉保健所（９ページ参照）、高知市保健所健康増進課　電話番号:088-803-8005

対象者は対象疾病に罹患しており、疾病ごとの助成対象となる基準を満たすかたです。

また、重症度分類を満たさないものの、指定難病にかかる月ごとの医療費総額が33,330円を超える月数が年間３月以上あるかたも対象となります。

医療費申告の対象期間は申請のあった月以前の12月（発症１年未満の場合は発症月から申請月までの間）となります。

対象となる疾病は、難病情報センターのホームページでご確認ください。

https://www.nanbyou.or.jp/

医療費助成の対象となる医療費・介護費としては、医療保険証（健康保険証）が使える医療、医師の指示のもと実施する介護のうち受給者証に記載されている疾病にかかるもののみ医療費助成が受けられます。

具体的には①訪問看護、②訪問リハビリテーション、③きょたく療養管理指導、④介護療養施設サービス、⑤介護予防訪問看護、⑥介護予防訪問リハビリテーション、⑦介護予防きょたく療養管理指導

⑧介護医療院サービスの８つになります。

なお、受給者証により医療費助成を受けられるのは、難病法に基づき医療機関が所在する都道府県が指定している病院・診療じょ、保険薬局、訪問看護事業者のみです。

自己負担額については、保険診療の自己負担が３割のかたは自己負担が２割になります（自己負担が２割以下のかたはそのままの自己負担となります）。さらに、受給者証に記載している月ごとの自己負担上限額を超えた額が助成されます。ただし、入院時の食費及び生活療養費は助成の対象外です。

申請手続きについては各福祉保健所（高知市のかたは高知市ほけんしょ）が窓口になります。

申請には、申請しょ・臨床調査個人票・高額療養費照会用同意しょ・世帯全員の住民票・世帯調しょ・医療保険証（健康保険証）の写し・「所得世帯」の市町村民税額等を確認できる書類

・マイナンバーの確認ができる書類、身元確認ができる書類が必要です。

その他、該当するかたのみ提出いただく書類もありますが、詳しくは健康対策課のホームページをご覧いただくか、申請先の福祉保健所にお問い合わせください。

なお、申請を受付けてから医療受給者証の交付まで３か月程度かかります。

また、認定された場合は毎年９月30日までに更新申請が必要です。

【特定疾患治療研究事業】

　県内にお住まい（住民票のあるかた）で、厚生労働省が指定した対象疾患に認定されているかたのその疾患に対する医療費（各医療保険の患者負担分）及び介護保険の医療系サービスに

ついて公費で負担します。自己負担はありません。

ここからは、問い合わせ先、対象者、申請手続きについての順番で説明していきます。

問い合わせ先は、高知県健康対策課　電話番号:088-823-9678、各福祉保健所（９ページ参照）

対象者は、県内に住所を有するかたで、以下の対象疾患に罹患しており、疾病ごとの認定基準を満たすかたです。

対象疾患 １ スモン　２ プリオン病（ヒト由来乾燥こうまく移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る）

申請手続きは、各福祉保健所又は、高知県庁が窓口になります。

申請には、申請しょ・臨床調査個人票・医療保険証の写し・高額療養費照会用同意しょが必要です。

２８ページ

【小児慢性特定疾病医療費の支給】

　平成27年１月１日に小児慢性特定疾病児童に対する医療費助成等について法律で定める児童福祉法の一部を改正する法律」が施行され、厚生労働大臣が定める小児まんせい特定疾病

（疾病ごとに認定基準あり）にかかり、認定基準を満たしたかたを対象に医療費を公費で負担します。

ここからは、問い合わせ先、対象者、医療費助成の内容、自己負担額、申請手続きについての順番で説明していきます。

問い合わせ先は、高知県健康対策課　電話番号:088-823-9678、各福祉保健所（９ページ参照）、高知市にお住まいの人は高知市子育て給付課　電話和番号：088-823-9447

対象者は、対象疾病にかかっており、認定基準（疾病の状態の程度）に該当しており、高知県に住民票のある18歳未満（18歳時点で交付を受けているかたは20歳の前日まで）のかたです。

対象疾病は、小児慢性特定疾病情報センターのホームページでご確認ください。

　　https://www.shouman.jp/disease/

医療費の助成については、受給者証に記載されている疾病にかかるもののみ助成を受けられます。

なお、受給者証により医療費助成を受けられるのは、児童福祉法に基づき医療機関が所在する都道府県、指定都市、中核市が指定している病院・しんりょうじょ、保険薬局、訪問看護事業者のみです。

指定医療機関は、医療機関の所在する都道府県等のホームページでご確認ください。

自己負担額は、保険診療の自己負担が３割のかたは自己負担が２割になります（自己負担が２割以下のかたはそのままの自己負担となります）。

さらに、受給者証に記載している月ごとの自己負担上限額を超えた額が助成されます。入院時の食費については、２分の１相当の金額が助成されます。

申請手続きは、各福祉保健所、住民票が高知市にあるかたは高知市子育て給付課が窓口となります。

申請には、申請しょ・医療意見しょ・医療意見しょの研究利用同意しょ・高額療養費照会用同意しょ・世帯全員の住民票・世帯調しょ・医療保険証（健康保険証）の写し・「しょとく世帯」の

市町村民税額等を確認できる書類・マイナンバーの確認ができる書類、身元確認ができる書類が必要です。

その他、該当するかたのみ提出いただく書類もありますが、詳しくは健康対策課のホームページをご覧いただくか、提出先の福祉保健所にお問い合わせください。

なお、申請を受付けてから医療受給者証の交付まで３か月程度かかります。

また、認定された場合は毎年９月30日までに更新申請が必要です。

（３）仕事について

詳細は、97ページをご覧ください。

●難病患者就職サポーター

　ハローワーク高知に配置し、難病相談支援センターと連携しながら、就職を希望する難病患者に対する症状の特性を踏まえたきめ細やかな就労支援や、在職中に難病を発症した患者の雇用継続等の総合的支援をおこなっています。

●障害者就業・生活支援センター

　仕事につきたいかたや仕事をしているかたの様々な相談・支援を、いろいろな機関と連携しておこなっています。

●雇用促進のための助成制度

　事業主に対する助成制度があります。

２９ページ

(４)　社会参加の促進について

情報提供

　視覚に障害のある方に、県の広報し「さんＳＵＮ高知」や「こうち県議会だより」の点字版・おんやくばんの発行等をしています。

　聴覚に障害のある方に、字幕入りテレビ番組等のビデオテープやＤＶＤの無料貸し出しをおこなっています。

　詳細は、104ページをご確認ください。

移動の支援について

・自動車を利用される方へ

自動車運転免許取得及び自動車改造費用の助成

　障害のある方が就労等社会参加のために運転免許を取得する場合、また、自らが所有し、運転する自動車を改造する場合、その費用の一部を助成します。必ず、免許取得前、自動車改造前に手続きが必要です。

・移動支援事業

　障害のあるかたが外出する際に、必要に応じて障害福祉サービス事業所等より支援を受けることができます。詳しくは、お住まいの市町村にお問い合わせください。

このほか、移動の支援についての詳細は106ページをご確認ください。

こうちあったかパーキング制度の利用証の交付

　公共施設や店舗などの障害者等用駐車場を適正に利用いただくため、障害のある方や高齢者など移動に配慮が必要なかたに、県が県内共通の利用証を交付する制度です。

　詳細は、107ページをご確認ください。

（５）相談・支援

難病相談支援センター

　ＪＲ高知駅の北側に「こうち難病相談支援センター」を設置し、難病の患者さんとそのご家族の療養上の悩みや不安等を相談する場所、交流できる場所として活動しています。

　相談支援については、難病相談支援員（保健師等）やピアサポーター等が面談・電話・メールによる相談に応じています。また、県内各地での出張相談会もおこなっています。

　また、同じ病気を抱えるかた同士の交流会、病気についての理解を深める学習会等を実施しています。

　就労相談については、ハローワークの難病患者就職サポーターと連携して、就労相談に応じています。

こうち難病相談支援センターの住所：高知市しんほんまち1丁目14の6　1階

電話番号：088-855-6258

ファックス：088-855-6257

開所時間：月曜日から土曜日の9時から17時45分

相談受付時間：9時30分から17時15分

メールアドレス：info@kochi-nanbyoshien.com

小児慢性特定疾病児童等自立支援員による相談支援

小児慢性特定疾病児童等自立支援員が小児慢性特定疾病児童とその保護者からの相談に応じます。

○相談事業、ピアサポート

　自立支援員やピアサポーターが、電話や面談、メールによる各種相談に応じます。

　 出張相談や家庭訪問も、必要に応じて行います。

○自立に向けた計画作成・フォローアップ

　成人後に自立した生活がおくれるよう、お子様の健康や教育等の状態に合わせて、 関係する機関（病院・学校など）と連絡調整し、自立に向けた計画の作成などによる支援を行います。

○交流会や学習会の開催

相談受付時間：月曜日から土曜日の9時30分から17時15分（日曜日、祝日、年末年始を除く）

問い合わせ先

県内（高知市以外）にお住まいの人は県自立支援員までお問い合わせください。

電話番号：088-855-6258（こうち難病相談支援センター）

メールアドレス： info@kochi-nanbyoshien.com

高知市にお住まいの人は高知市自立支援員までお問い合わせください。

電話番号：088-856-5151（高知県難病団体連絡協議会事務所内）

相談受付時間：月曜日、水曜日、金曜日、第１土曜日の９時30分から17時15分

（第2げつよう・日曜・祝日・年末年始を除く）

30ページ

令和５年５月現在で障害者総合支援法の対象となる難病等の疾患一覧を紹介します。全部で366項目あります。

1アイカルディ症候群

2アイザックス症候群

3アイジーエー腎症

4アイジージーフォー関連疾患

5亜急性こうか化性全脳炎

6アジソン病

7アッシャー症候群

8アトピー性脊髄炎

9アペール症候群

10アミロイドーシス

11アラジール症候群

12アルポート症候群

13アレキサンダー病

14アンジェルマン症候群

15アントレー・ビクスラー症候群

16イソきっそう酸けつ症

17一次性ネフローゼ症候群

18一次性膜性増殖性糸球体腎炎

19　１ｐ36欠失症候群

20遺伝性自己炎症疾患

21遺伝性ジストニア

22遺伝性周期性四肢麻痺

23遺伝性膵炎

24遺伝性てつがきゅう性貧血

25ウィーバー症候群

26ウィリアムズ症候群

27ウィルソン病

28ウエスト症候群

29ウェルナー症候群

30ウォルフラム症候群

31ウルリッヒ病

32HTLV－ワン関連脊髄症

33ＡＴＲ－Ｘ症候群

34ＡＤＨ分泌異常症

35エーラス・ダンロス症候群

36エプスタイン症候群

37エプスタイン病

38エマヌエル症候群

39えんい型ミオパチー

40円錐角膜

41おうしょく靭帯こっか症

42おうはんジストロフィー

43大田原症候群

44オクシピタル・ホーン症候群

45オスラー病

46カーニー複合

47海馬硬化を伴う　ないそく側頭葉てんかん

48潰瘍性大腸炎

49下垂体ぜんよう機能低下症

50家族性地中海熱

51家族性βリポタンパクけっしょうわん（ホモ接合体）

52家族性良性慢性天ぽうそう

53カナバン病

54化膿性無菌性関節炎・えそ性のうひ症・アクネ症候群

55歌舞伎症候群

56ガラクトース‐わん‐リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症

57カルニチン回路異常症

58かれいおうはん変性

59肝型とうげん病

60かん質性膀胱炎（ハンナ型）

61かんじょう20番染色体症候群

62関節リウマチ

63完全大血管転位症

64がん皮膚はくひ症

65ぎ性副甲状腺機能低下症

66ギャロウェイ・モワト症候群

67急性壊死性脳症

68急性網膜壊死

69球脊髄性きん萎縮症

70急速しんこう性しきゅうたい腎炎

71きょうちょく性脊椎炎

72巨細胞性動脈炎

73巨大静脈奇形（頚部口腔咽頭びまん性病変）

74巨大動静脈奇形（頚部顔面又は四肢病変）

75巨大膀胱たんしょうけっちょう腸管蠕動不全症

76巨大リンパ管奇形（頚部顔面病変）

77きん萎縮性そくさく硬化症

78きん型とうげん病

79きんジストロフィー

80クッシング病

81クリオピリン関連周期熱症候群

82クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群

83クルーゾン症候群

84グルコーストランスポーターわん欠損症

85グルタル酸けっしょう1型

86グルタル酸けっしょう2型

87クロウ・深瀬症候群

88クローン病

89クロンカイト・カナダ症候群

90痙攣重積型（二そうせい）急性脳症

91結節性硬化症

92結節性多発動脈炎

93血栓性血小板減少性しはん病

94げんきょく性皮質異形成

95原発性局所多汗症

96原発性こうかしょう胆管炎

97原発性こうしけっしょう

98原発性そくさくこうかしょう

99原発性たんじゅうせい胆管炎

100原発性免疫不全症候群

101顕微鏡的大腸炎

102顕微鏡的多発血管炎

103高あいじーでぃー症候群

104こうさんきゅう消化管疾患

105こうさんきゅう性多発血管炎性肉がしゅ症

106こうさんきゅう性副びくう炎

107抗しきゅうたい基底膜腎炎

108こうじゅうじんたいこっか症

109甲状腺ホルモン不応症

110拘束型心筋症

111高チロシンけっしょう1型

112高チロシンけっしょう2型

113高チロシンけっしょう3型

114後天性せきが球癆

115広範脊柱管狭窄症

116こうようてきじゅう角膜ジストロフィー

117抗リン脂質抗体症候群

118コケイン症候群

119コステロ症候群

120こつ形成不全症

121骨髄異形成症候群

122骨髄線維症

123ゴナドトロピン分泌こうしん症

124　５pけっしつ症候群

125コフィン・シリス症候群

126コフィン・ローリー症候群

127混合性結合組織病

128さいじじん症候群

129再生不良性貧血

130サイトメガロウィルス角膜内皮炎

131再発性多発軟骨炎

132さしん低形成症候群

３１ページ

133サルコイドーシス

134三尖弁閉鎖症

135三頭酵素欠損症

136CFC症候群

137シェーグレン症候群

138しきそせいかんひ症

139自己どんしょくくうほうせいミオパチー

140自己免疫性肝炎

141自己免疫性後天性凝固因子欠乏症（※）新たに対象となる自己免疫性後天性凝固第エックス因子欠乏症も、自己免疫性後天性凝固因子欠乏症に統合されています。

142自己免疫性溶血性貧血

143四肢形成不全

144シトステロールけっしょう

145シトリン欠損症

146しはん病性腎炎

147脂肪萎縮症

148若年性突発性関節炎

149若年性肺気腫

150シャルコー・マリー・トゥース病

151重症きん無力症

152修正大血管転位症

153ジュベール症候群関連疾患

154シュワルツ・ヤンペル症候群

155じょは睡眠期持続性きょくじょはを示すてんかん性脳症

156神経細胞移動異常症

157神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性はくしつ脳症

158神経線維腫症

159神経フェリチン症

160神経ゆうきょく赤血球症

161しんこうせいかくじょう性麻痺

162しんこうせい家族性肝内胆汁うっ滞症

163しんこうせいこっか性線維異形成症

164しんこうせいたそう性はくしつ脳症

165しんこうせいはくしつ脳症

166しんこうせいミオクローヌスてんかん

167心室ちゅうかく欠損を伴う肺動脈閉鎖症

168心室ちゅうかく欠損を伴わない肺動脈閉鎖症

169スタージ・ウェーバー症候群

170スティーヴンス・ジョンソン症候群

171スミス・マギニス症候群

172スモン

173脆弱X症候群

174脆弱Ｘ症候群関連疾患

175成人スチル病

176成長ホルモン分泌こうしん症

177脊髄空洞症

178脊髄小脳変性症(たけいとう萎縮症を除く。)

179脊髄髄膜りゅう

180脊髄性きん萎縮症

181セピアプテリン還元酵素（SR)欠損症

182ぜんがん部形成異常

183全身性エリテマトーデス

184全身性きょうひ症

185せんてん異常症候群

186せんてん性横隔膜ヘルニア

187せんてん性かくじょう性球麻痺

188せんてん性気管狭窄症/先天性せいもんか狭窄症

189せんてん性ぎょりんせん

190せんてん性きん無力症候群

191せんてん性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症

192せんてん性三尖弁狭窄症

193せんてん性腎性にょうほう症

194せんてん性赤血球形成異常性貧血

195せんてん性僧帽弁狭窄症

196せんてん性大脳　はくしつ形成不全症

197せんてん性肺静脈狭窄症

198せんてん性ふうしん症候群

199せんてん性副腎低形成症

200せんてん性副腎皮質酵素欠損症

201せんてん性ミオパチー

202せんてん性むつうむかん症

203せんてん性葉酸吸収不全

204ぜんとうようそくとうよう変性症

205早期ミオクロニー脳症

206総動脈かんいざん症

207総排泄くういざん

208総排泄くうがいはん症

209ソトス症候群

210ダイアモンド・ブラックファン貧血

211第14番染色体父親性ダイソミー症候群

212大脳皮質基底核変性症

213大理石こつ病

214ダウン症候群

215高安動脈炎

216た系統萎縮症

217タナトフォリックこつ異形成症

218たはつ血管炎性にくげしゅ症

219たはつ性硬化症／視神経脊髄炎

220たはつ性軟骨性がいこつ腫症

221たはつ性のうほう腎

222た脾症候群

223タンジール病

224単心室症

225弾性線維性仮性おうしょく腫

226短腸症候群

227たんどう閉鎖症

228ちはつせいないリンパ水腫

229チャージ症候群

230ちゅうかく視神経形成異常症/ドモルシア症候群

231中毒性表皮壊死症

232腸管神経せつ細胞僅少症

233TSH分泌亢しん症

234TNF受容体関連周期性症候群

235低ホスファターゼ症

236天ぽうそう

237とくとうと変形性脊椎症を伴うじょう染色体劣性はくしつ脳症

238特発性拡張型心筋症

239特発性間質性肺炎

240特発性基底核石灰化症

241特発性血小板減少性しはん病

242特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）

243特発性後天性全身性無かん症

244特発性大腿こっとう壊死症

245突発性たちゅうしん性キャッスルマン病

246特発性門脈圧亢しん症

247特発性両そく性感音難聴

248突発性難聴

249ドラベ症候群

250なか條・西村症候群

251那須・ハコラ病

252軟骨無形成症

253なんち頻回部分発作重積型急性脳炎

254 22q11.2欠失症候群

255乳幼児肝巨大血管腫

256尿素サイクル異常症

257ヌーナン症候群

258ネイルパテラ症候群（そうしつがいこつ症候群）/LMXわんB関連腎症

259ネフロン癆

260脳クレアチン欠乏症候群

261脳腱おうしょく腫症

262脳表ヘモジデリン沈着症

263のうほう性乾癬

264のうほう性線維症

265パーキンソン病

266バージャー病

267肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症

268肺動脈性肺高血圧症

269肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）

270肺胞てい換気症候群

271ハッチンソン・ギルフォード症候群

272バッド・キアリ症候群

273ハンチントン病

274汎発性特発性こつ増殖症

275ＰＣＤＨ19関連症候群

276非ケトーシス型高グリシンけっしょう

277ひこう性皮膚こつまく症

278非ジストロフィー性ミオトニー症候群

279皮質か梗塞とはくしつ脳症を伴うじょう染色体優性脳動脈症

280肥大型心筋症

３２ページ

281左肺動脈右肺動脈きし症

282ビタミンD依存性くるびょう/骨軟化症

283ビタミンＤ抵抗性くるびょう/骨軟化症

284ビッカースタッフ脳幹脳炎

285非典型溶血性尿毒症症候群

286非特異性多発性小腸潰瘍症

287皮膚きん炎／た発性きん炎

288びまん性汎さい気管支炎

289肥満てい換気症候群

290表皮すいほう症

291ヒルシュスプルング病（全けっちょう型又は小腸型）

292VATER症候群

293ファイファー症候群

294ファロー四ちょう症

295ファンコニ貧血

296封入体きん炎

297フェニルケトン尿症

298フォンタン術後症候群

299複合カルボキシラーゼ欠損症

300副甲状腺機能低下症

301副腎はくしつジストロフィー

302副腎皮質刺激ホルモン不応症

303ブラウ症候群

304プラダ－ウィリ症候群

305プリオン病

306プロピオン酸けっしょう

307PRL分泌亢しん症（高プロラクチンけっしょう）

308閉塞性さい気管支炎

309β‐ケトチオラーゼ欠損症

310ベーチェット病

311ベスレムミオパチー

312ヘパリン起因性血小板減少症

313ヘモクロマトーシス

314ペリー症候群

315ペルーシド角膜辺縁変性症

316ペルオキシソーム病（副腎はくしつジストロフィーを除く。）

317へんそく巨脳症

318へんそく痙攣・片麻痺・てんかん症候群

319芳香族L-アミノ酸脱炭素酵素欠損症

320ほっさせい夜間ヘモグロビン尿症

321ホモシスチン尿症

322ポルフィリン症

323マリネスコ・シェーグレン症候群

324マルファン症候群

325慢性炎症性脱髄性多発神経炎／たそう性運動ニューロパチー

326慢性血栓そくせん性肺高血圧症

327慢性再発性たはつ性骨髄炎

328慢性膵炎

329慢性特発性ぎ性腸閉塞症

330ミオクロニーけっしんてんかん

331ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん

332ミトコンドリア病

333無虹彩症

334無脾症候群

335無βリポタンパクけっしょう

336メープルシロップ尿症

337メチルグルタコン酸尿症

338メチルマロン酸けっしょう

339メビウス症候群

340メンケス病

341網膜色素変性症

342もやもや病

343モワット・ウイルソン症候群

344薬剤性過敏症症候群

345ヤング・シンプソン症候群

346優性遺伝形式をとる遺伝性難聴

347ゆうそうせい焦点発作を伴う乳児てんかん

348　４pけっしつ症候群

349ライソゾーム病

350ラスムッセン脳炎

351ランゲルハンス細胞組織球症

352ランドウ・クレフナー症候群

353リジン尿性蛋白不耐症

354りょうそくせいしょうじ症・がいじどう閉鎖症

355両大血管うしつきし症

356リンパ管腫症/ゴーハム病

357リンパ脈管筋腫症

358類天ぽうそう（後天性表皮すいほうを含む。）

359ルビンシュタイン・テイビ症候群

360レーベル遺伝性視神経症

361レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症

362劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴

363レット症候群

364レノックス・ガストー症候群

365ロスムンド・トムソン症候群

366肋骨異常を伴う先天性そくわん症

障害者総合支援法の対象となる難病等の疾患は以上です。